



# 貨幣の世界

7

## 形 その6

# 現代の貨幣 国もいろいろ形もいろいろ (4)

貨幣同士の識別を簡単にしたり、偽造しづらくするために円形以外の形が採用されることがあります。前回に続き、近代以降の多角形を中心とした貨幣をご紹介します。さらに、ホタテ貝型の貨幣もご覧ください。

## 十二角形

十二角形の貨幣として代表的なものにオーストラリアの五〇セント貨幣があげられます。

一九六六年、オーストラリアは、貨幣単位を英国にならったポンド・シリング・ペンス単位（二ポンド＝二〇シリング、一シリング＝二ペンス）から、ドル・セント単位（一ドル＝一〇〇セント）に変更しました。

貨幣単位の変更に合わせて発行された五〇セント貨幣は、当初、円形でした（写真1）。しかし、ほとんど同じ大

写真1 オーストラリア 円形  
50 セント銀貨（1966年発行）



（直径31.7mm、重量約13.3g）

写真2 オーストラリア 十二角形  
50 セント白銅貨（1969年～発行）



オーストラリアで日常的に使われる貨幣には、同国固有の動物がデザインに採用されています。50セント貨幣の裏面には、国章がデザインされ、その中にカンガルーとエミューが見受けられます。（直径約31.7mm、重量約15.6g）

## バイメタルと バイカラー・クラッド貨幣

本文でご紹介した英国の1ポンド貨幣(写真3)は、中央の円盤とそれを取り囲むリング部分の金属が異なっている「バイメタル(二つの金属)」の貨幣です。バイメタルの貨幣は製造が難しいことから、多くの国で貨幣の偽造対策として採用されています。

日本の「地方自治法施行60周年記念」の500円貨幣(下の画像)は、円盤部分とリング部分の金属が異なる色合いなので、一見バイメタルの貨幣だと思われるでしょう。実は、円盤部分はクラッド技術(ある金属を別の金属でサンドイッチする技術)が使われた「バイカラー・クラッド」貨幣です。このような高度な技術を採用することで、より偽造が困難になります。

平成20年(2008)から地方自治法施行60周年を記念して全都道府県別に各自治体を代表する風景や人物等がデザインされた千円銀貨幣、500円バイカラー・クラッド貨幣が発行されました。ここにあげた平成22年(2010)発行の高知県の500円バイカラー・クラッド貨幣には、明治維新の英雄の一人、坂本龍馬の肖像が使われています。

なお、坂本龍馬の肖像が描かれた千円銀貨幣と500円バイカラー・クラッド貨幣は、1300年を超える日本貨幣史上初めて「実在の人物」の肖像が採用された貨幣です。



画像提供：独立行政法人造幣局

大きさの二〇セント貨幣との区別が難しいとの声を受け、発行後三年経過したところで、円形から十二角形に形が変えられました(写真2)。ちなみに、貨幣の素材も銀から白銅に変更されました。

また、英国もポンド貨幣としては一九八三年から、ソブリン金貨(一ポンド金貨)としてはヘンリー七世治下の1489年から1530年近い歴史を持つ円形の貨幣を、二〇一七年に十二角形の貨幣に変更しました(写真3)。

写真3 英国 1ポンドバイメタル貨(2017年~発行)



バイメタル(コラム参照)をはじめ、さまざまな偽造防止技術が採用されています。表面は、エリザベス二世女王の肖像(5代目)、裏面は、イングランドを象徴するバラ、ウェールズを象徴するリーキ(西洋ネギ)、スコットランドを象徴するアザミ、北アイルランドを象徴するシロツメクサといった「グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国」を構成する4つの国の植物があしらわれています。このデザインは、公募の結果15歳の少年のデザイン案が採用されたものです。

(直径約23.4mm、重量約8.8g)

### 十三角形

十一角形の貨幣を日常的に使用している中欧の国チェコでは、十三角形の貨幣も日常的に使われています(写真4)。見た目はほとんど円形と区別がつかいません。

### 十四角形

マレーシアから一九七六年に第三次五カ年計画記念貨幣(一〇リンギット銀貨、二〇〇リンギット金貨)、またオーストラリアから収集家用貨幣が発行されています(写真5)。

### 十六角形

十六角形は二〇一七年にイタリアで発行された記念貨幣をご紹介します(写真6)。

### 二十一角形

十六角形の次は、イエメンから発行された二十一角形です(写真7)。一目では角があるようには見えません。

### 二十五角形

さて、「角の立つ」貨幣としては、カリブ海に浮かぶ島国英領バージン諸島で発行されたエリザベス二世女王即位二十五周年記念金貨の「二十五角

写真5 オーストラリア 50セント  
成年白銅貨(2018年発行)



近年、オーストラリアでは干支にちなんだ十四角形の貨幣が発行されています。その中から、今年2018年にちなんで成年のものを紹介します。  
(直径31.5mm、重量約15.4g)

写真4 チェコ 20コルナ  
真鍮メッキのスチール貨(1993年～発行)



表面は、チェコの国章のライオン、裏面は、馬にまたがるチェコの守護聖人 聖ヴァーツラフ(ボヘミア公ヴァーツラフ1世<907～935年>)です。  
(直径26mm、重量約8.4g)

写真6 イタリア 5ユーロ  
トト没後50周年記念 バイメタル貨(2017年発行)



映写機や映画フィルムのデザイン、さらに「トト」という名前を聞けば、映画ファンはイタリア映画の名作『ニュー・シネマ・パラダイス』の主人公サルヴァトーレの愛称「トト」を思い起こすでしょう。その映画の中、パラダイス座が燃えた際に上映されていた映画『ヴィジューの消防士たち』で主役を演じていた人物が、この貨幣で表面にデザインされているイタリアの喜劇王トト(1898～1967年)です。トトは戦前から戦後にかけてイタリアの舞台に映画で大活躍したとのこと。 (直径27.5mm、重量約9.5g)

形」が最多の多角形と言われている。二十五という角数は、女王の在位二十五周年に合わせたかと思われる。

### ホタテ貝型

世界的にみて、円形と多角形以外で比較的ポピュラーな貨幣の形状として「ホタテ貝型」と呼ばれる形があります。波打つ縁がホタテ貝に似ていることから、その名で呼ばれています。

ホタテ貝型の貨幣は、波打つ縁の数が八あるいは一二個のものが多く見られ、他に一〇、一六個のものもあります。

### 縁八个

インド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュ、マルタ等で日常的に使われる形の貨幣として採用されました(写真8)。

### 縁一〇個

紹介するタンザニアのほかスワジランドでもこの形の貨幣が日常的に使用されています(写真9)。

写真8 マルタ 2ミル・3ミルアルミニウム貨 (1972年より発行)



マルタ共和国の通貨単位は、かつては、10ミル=1セント、100セント=1ポンドでした。10進法を採用しているにもかかわらず「3」を貨幣に採用していることも珍しいと思われます(かつての英国のポンド・シリング・ペンスといった貨幣単位を採用していた国では、英国本国をはじめ比較的よく見られました)。ちなみに、写真で紹介していませんが、5ミル貨幣は縁が12個のホタテ貝型でした。マルタ共和国では、ユーロ導入前は、ホタテ貝型、円形、八角形、十角形の貨幣が日常的に使われており、小銭入れはさぞぎやかだったかと思います。(2ミル:直径20.3mm、重量約1.0g、3ミル:直径23.3mm、重量約1.5g)

写真7 イエメン 5リアルステンレス貨 (1993年より発行)



イエメンは、アラビア半島南端、紅海の入りに臨む国です。表面の口のように見えるのは「アラビア数字」の5です。その下には年号が西暦(左:2004年)とヒジュラ暦(右:1425年)で書かれています。(直径22.9mm、重量約4.5g)

写真9 タンザニア 10セント ニッケル黄銅貨 (1977~1984年発行)



十角形(本誌52号「貨幣の世界-⑥」をご覧ください)でご紹介したタンザニアでは、かつてはホタテ貝型の貨幣も日常的に使用していました。表面は、ニエレレ初代大統領、裏面は走るシマウマです。(直径25mm、重量約4.8g)

## 英国王室属領

ガーンジー島を含むガーンジー管区、同じく英仏海峡に浮かぶジャージー島を含むジャージー管区、英国本島とアイルランドの間に浮かぶマン島の3つは「王室属領」(Crown Dependencies)という地域です。

王室属領は、いわゆる「英国」——グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国(イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドから構成される)——とは異なる独自の議会、法律、裁判所、貨幣を有しています(さらにガーンジー管区内のオルダニー島、ハーム島は、ガーンジー島とは別の法律、議会を有しているとのことです)。

王室属領の歴史は中世にさかのぼり、その痕跡は、ガーンジー、ジャージーの両管区では、エリザベスⅡ世英国女王が、英国あるいはイングランドの女王としてではなく、1066年に英国を征服したフランス貴族ノルマンディー公(の継承者)として統治していることにもみられます。



## 縁一 二個

現在でも香港、マカオ、クック諸島、スワジランド等で日常的にこの形の貨幣が使用されています。ここでは、それ以外の国をご紹介します(写真10)。

## 縁一 六個

ルワンダのニフランアルミニウム貨(一九七〇年発行)のほか、リビアで発行された五〇ディルハム白銅貨(二〇〇九年発行)があります。いずれも見た目は、縁が増えてホタテというよりダリアの花のようです。

今回は近現代における穴開き貨幣と変わった形の貨幣をご紹介します。

写真10 ガーンジー島 3ペンス白銅貨(1959~1966年発行)



ガーンジー島は、フランスが目の前という英仏海峡に浮かぶ英国王室属領です。「レ・ミゼラブル」や「ノートルダム・ド・パリ」の作者 ヴィクトル・ユゴーが、フランス第2帝政からの亡命先として居住した島としても知られています。写真の貨幣は、ペンス・シリング・ポンド単位の時代のもので(現在は100ペンス=1ポンド単位で、同じデザインの円形の2ペンス貨幣も発行されています)。裏面の牛は、日本でもおなじみのジャージー牛の仲間のガーンジー牛です。(直径21mm、重量約6.5g)